

# ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行: 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地  
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ  
だより  
No. 491

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ風の作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
地域生活支援センターあさやけ	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
	小平元気村おがわ東 1 階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	TEL 042-313-2217



仕事の合間に皆で写真を撮ったのですが、なかなか大変

## 今年も仕事頑張るぞ

あさやけ風の作業所

この度、三度目の産前産後休暇・育児休業を取得させていただくことになりました。私のことを「存じの方は「え、また?」「あれ、福井さんって復職したばかりじゃなかったかしら?」と思われることもあるのではないのでしょうか。そうなのです。またなのです。その感覚は間違いではありません。なぜならば、私自身が感じたことでもあるからです。

私の復職は今年度六月下旬。その二ヶ月後、新たに子を授かっていることに気が付きました。一番に嬉しい気持ちがおこみあげてきましたが、その次には「復職したばかりなのに:報告しにくいな:。」という思いが。なぜ、そのように思うのか。実は、第二子を授かったタイミングも今回と同じように復職した直後だったからです。復職したばかりなのに、再び現場に穴を空けてしまうことが申し訳ないと感じたのです。

みなさんに伝えたいこと  
あさやけ作業所  
福井 真央

世間では体調が悪くても休めない妊婦さんや、妊娠をしたら退職なんて職場もあるそうです。いわゆるマタハラ(マタニティーハラスメント)。このような問題が一般的に聞かれる中、私は気が付いたのです。「なんて素敵なのか

そんな思いを抱えながらの職場への報告。皆さんの反応は私の不安を払拭するようなものばかりでした。「おめでとー!」「(休むことは)気にしないで、老後支えてもらうんだから。」というポジティブな言葉。そして、ともに働く所員の方の中には身体を

まに囲まれているのだろう。」と...。長くなりましたが、私がみなさんに伝えたいこと。それは感謝です。なかまからのたくさん温かいお言葉やお気遣いが心の支え・働く力になりました。また、なかまと楽しく働く日を励みに育児に奮闘してまいります。本当にありがとうございます。

仲間紹介

ひとりひとりが太陽



いつまでも鷹の台作業所に元気に通うぞ!

宇佐美 誠さん

(あさやけ鷹の台作業所)



鷹の台作業所へ入所して三十二年数年大きな分岐点の時期を迎えています。作業所ではダイレクトメールの作業を行い、仲間の掛け合いを楽しみしながら毎日、自転車で通所してきます。休みの日には、食事外出や図書館に、出来ることを楽しんでいます。好きな事の一つが、昼のコーヒー当番です。職員・メンバーに朝、注文数を確認して昼食後のティータイムの用意をしてくれます。

作業場所は二階で行っている為部材を持って、一階と二階を行ったり来たりで大忙し。階段を何回も往復しています。あさやけだよりに掲載するため、宇佐美さんに直接聞いてみました。終始笑いながら色々話してくれました。鷹の台作業所・仲間が好きで、毎日作業所に来ることが楽しみです。宇佐美さんです。作業所と仲間と関わりを持ちながら、元気に好きな事に取り組めるよう楽しんでほしいです。

- 職員 宇佐美さん 「あさやけだよりの仲間紹介に載るので、話を聞かせて?」
- 職員 宇佐美さん 「はい。で長瀬さんには「内密に(笑)」首藤さんには「内密に(笑)」
- 職員 宇佐美さん 「鷹の台に入ってからの様に変わりましたか?」
- 職員 宇佐美さん 「シン。長瀬さんと一緒にやりました(笑)」「首になりました(笑)」
- 職員 宇佐美さん 「なんで首になったの?」
- 職員 宇佐美さん 「やる気がないから(笑)」「一発でびんと(笑)」
- 職員 宇佐美さん 「そのあとは、どんなお仕事したの?」
- 職員 宇佐美さん 「つばめ班で、なにやっていたかな?」「スパーピンチ!」のぶがいた。くま(笑)」
- 職員 宇佐美さん 「ダイレクトメール作業はいつから?」
- 職員 宇佐美さん 「まっちゃんだね。納品行ったらっしょーいと僕は逃げた(笑)」
- 職員 宇佐美さん 「これから仕事はどうしたい?」
- 職員 宇佐美さん 「もっとやりたい。」「あんなさん(わい)(笑)」「小幡ちゃん(笑)」
- 職員 宇佐美さん 「仲間に関心したいことある?」
- 職員 宇佐美さん 「頑張ります。センキューOK!」「あんなさんに「内密に、かみなりあんな」
- 職員 宇佐美さん 「今の生活はどうですか?」
- 職員 宇佐美さん 「ブルがいる、グレートヤオサカがいるから大丈夫(笑)」
- 職員 宇佐美さん 「全部載せるけど大丈夫?」
- 職員 宇佐美さん 「いいよ(笑)」、中川孝夫さんには「あんなさんには「内密に」

送迎の仕事に携わって九年目になりました。当初は不安と無知で思うように行かない事も有ったようです。慣れると共に注意力が緩慢になるのも人の常かも知れません。そんな時に、おとし穴が待っているよ。ある日の送迎の帰り道、お巡りさんに止められた。「はい、一時停止違反です。反則金七千円を納入して下さい」とキップを切られた。わずか数秒の確認で良いものを、七千円はくやしきさ。これで居酒屋への道が遠のいたよ。近頃は、十分気をつけて運行している。無事仕事を終えた、夜の一杯イヤちょっと二杯がうまい。ありがとう、次も穴におちない様、頑張ろうな。(稲葉 泰男)



あさやけ作業所で送迎しています。十年近くになりました。当然ながらいままでも何事もなく安全運転で送迎しています。これからも何年出来るか安全運転で頑張って行きます！通所している子達もそれぞれ豊かな個性を持って年を重ねていてもらいたいと思います。頑張って！そして、職員の皆さん日々、喜びや悩みがあると思いますが頑張って下さい！そして……自分も頑張る！

(日下部 国一)

## 利用者の通所を毎日支える送迎



作業所に通う利用者の交通手段として欠かせない自動車での送迎、あさやけ作業所では四十九名の利用者が朝と夕方一日二回ほぼ毎日送迎車に乗っています。作業所の自動車は七台、毎日フル稼働です。送迎は小平市内だけでなく近隣の市まで、北から南へ東へ西へ長いコースはなんと二十キロ！朝七時半頃出発し作業所に九時過ぎに着くという長距離コースです。朝一番最初に乗る利用者さんは作業所まで約一時間車に揺られ着いたらお仕事、なかなかハードな毎日です。朝は九時過ぎに次々と到着する送迎車、職員が代わる代わるメンバーを受け入れます。

夕方仕事終わりには、メンバーは自分が乗る車を分かっていてスムーズに乗り込んでいきます。ほぼ一斉に出発する送迎車、最大十人乗りの車が何台も出発する様は見ていると気持ちが良いです。職員みんなで見送ります。車内では皆静か。たまに賑やかなメンバーもいます。夕方は自宅が近づく準備をするメンバーも。それまで目をつむっていても自宅近くになると目を開けます。時間感覚でわかるのでしょうか。

運転するのは作業所職員と四名の送迎専門の熟練ドライバーさんたち、毎日メンバーを安全に送迎してもらい感謝でいっぱいです。そんなドライバーさんたちに一言いただきましたので紹介します。今後も利用者さんが快適に乗っていただけるよう職員、運転手一同安全第一で送迎していきたいと思っています。

犬の散歩中に たまたま「ドライバー募集」の貼り紙を見つけたのがあさやけの送迎ドライバーを始めたきっかけでした。個性豊かなメンバーの皆さんに当初戸惑う事もありましたが、皆さんの素敵な笑顔のお陰で すぐに馴染む事ができました。現在五年目になりましたが、平日は朝と夕方に皆さんに会えるのがとても楽しみです。車内では色々なお話しが聞けたり 時には一緒に歌ったり 賑やかに楽しく過ごしています。時々急に車内がシーンと静かになることがありますが、そんな時はバックミラーに“気持ち良さそうな寝顔”が並んで見えたりします。何とも微笑ましい光景です。楽しい時間を過ごさせて頂いている事に感謝しつつ、これからも安全運転で大切な皆さんを送迎します。(前田 恵子)

送迎の仕事始めて四年ほど経過しました。車の中では利用者さんと会話を楽しみながら働いています。さて、利用者さんが安心して乗車してもらえるよう安全運転には日々気をつけています。以前勤めていた会社では毎日厳しい指導を受けていました。そこで私は次の三点に注意をすればほとんどの事故は防げると気づきました。一、スピードを出さない、二、確実に一時停止をする、三、左右の安全確認をしっかり行う。私は特に一時停止をしっかり行うことに拘っています。出会い頭の事故はこれの不履行によるものだからです。さあ今日も余裕の安全運転で無事故で行きましょう。(坂本 美己)

## ドライバー募集！

障害者作業所の送迎の仕事をやってみませんか。

○勤務先 あさやけ作業所 (小平市小川町)  
あさやけ風の作業所 (小平市中島町)

○時間帯 朝 / 7時30分～9時30分  
夕 / 15時30分～17時30分

○時給 1,100円～



# 成人おめでとう！

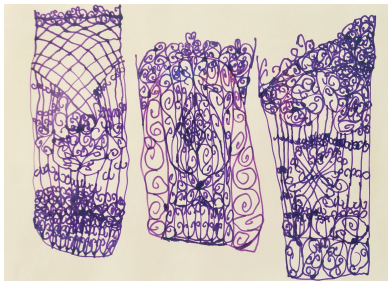


あさやけ作業所では成人になったメンバーがいると「成人を祝う会」を催して、みんなで二十歳になった仲間の成人を祝ってきました。今年はコロナ禍でみんなが集まっての行事が出来なく「祝う会」も中止になり、とても残念ですが、あさやけだよりで成人になった仲間を紹介합니다。

## 作業班の担当職員から

勇気を出して、たくさんの方に挑戦してきた20年。絵を描くことは、得意なことの一つです。時には、兄弟のノートにも描いてしまい、お母さんをこまらせることもありました。今も、月に一度絵の指導を受けて磨きをかける。20歳を迎えたQTさん。ご家族に話を伺うと、お母さんは様々な「縁」に支えられた20年だったと振り返りました。絵を描くことも、あさやけ作業所に入ったことも、作業に取り組んでいることも、多くの縁が、今のQTさんを導いたとおっしゃっていました。あさやけの仲間と出会ったことも縁です。これからも一緒に頑張りましょう。成人おめでとう。

あさやけ作業所職員 廣瀬 公平



# あさやけの 焼き菓子 セット

お好みに合わせて  
箱詰め致します



焼き菓子セット  
(マフィン6個 マドレーヌ9個)

2,180円(税込)

あさやけ作業所 TEL: 042-345-4575 FAX: 042-345-4514

## きょうされんグッズデザインコンクール

作品「屋久杉」 サングリーン 永倉幹夫さんの作品が入賞しました！



屋久杉 (製作途中の時点での作品)

### 【永倉さんにインタビュー】

#### ■今回の入賞作品に対する思いは？

この作品は子供のころに読んだ椋鳩十の『海上アルプス』に出てくる屋久島の杉をもとにイメージしました。屋久杉は標高500メートルを超える山地に自生しています。椋鳩十の作品に出てきた杉はたぶん縄文杉だと思います。私はその作品を10代のころに何度も読んで「いつかこの杉を見てみたい」という思いを心に秘めてずっとイメージを膨らませていました。

昨年テレビで縄文杉より古い杉を探そうというドキュメントを見て、今回描いた杉をイメージして描きはじめました。下描きはせずボールペンでぶっつけ本番、スケッチブックに一心不乱で3日から4日かけて下絵を描き、1日置いてから色を塗りました。画材はべんてるの筆ペン「アートブラッシュ」というもので、18色のほとんどを使って、しかも原色はあまり好きではないので、混ぜたり薄めたりして塗りました。

わたしは老木や古い切り株がわりと好きで子供のころからよく描いていました。でも、大人になってからあまり描かなくなってしまいました。4年ほど前に母が亡くなり、その1年後にグループホームに入居して慣れてきたころ、時間をもてあましていた私は子供のころに描いていた古木を描きはじめました。古木の作品は、今回入賞した作品で4作目だったと思います。

#### ■その他最近感じていることなどお聞かせください。

最近、星野富弘美術館の公募展に応募したところ、二年連続入選しました。その絵のテーマは生命(いのち)の色「母の色、児(こ)の色」というもので、私のライフワークにしようと思っています。その他、トランペットの練習をしたり、写真やアクセサリ作りもやっています。

とにかく私にはやりたいことがたくさんあって大変です。でも、ひとつずつそれらをじっくりとやっていこうと思っています。できないとあきらめるのは簡単ですが、「できないのならどうしたらできるのか」を考えるのが私のモットーです。亡くなった母の口癖だった「やるっきゃない」を思い出して日々挑戦している私です。

障害福祉についての制度の拡充を求めて

きょうされん 第44次

## 国会請願署名・ 募金運動 全国キャンペーン

2020年12月～2021年4月

基金の  
お願い

いただいた基金は、本キャンペーンを展開するための費用や  
当会が運動するための活動資金として有効に活用させていただきます。

わたしたちは「きょうされん」です

当会は、旧称を「共同作業所全国連絡会」と言い、障害のある人たちが「働く・活動する」事業所をはじめ、グループホーム、相談支援センターなど、1,870か所を超える事業所が会員となっています。  
わたしたちは、障害のある人たちの暮らしをゆたかにするための制度の拡充を求め、活動を続けています。



#### 請願項目の要旨

1. 障害のある人がコロナ禍でも安心して生活できるように
  - ア) 医療体制を拡充し、障害のある人や支援者のいのち・健康が守れるように
  - イ) 生産活動が減収になった事業所で働く障害のある人に、国として工賃の補償を
  - ウ) 日額払い制度をあらためて、安定した事業運営ができるように
  - エ) 労働条件を改善して、福祉に携わる人が安心して働き続けられるように
  - オ) 国の責任のもとで、地域活動センターへの対策を
2. 優生保護法で被害にあった人たちの人権回復と、徹底した調査を
3. 65歳を超えても、必要な支援を自ら選んで利用できるように

社会福祉法人ときわ会の各事業所では国会請願署名に取り組んでいます。地域の各団体への協力お願いや廃品回収の時等に署名用紙を配布させていただいていますので、署名活動にご協力をお願いします。また、個人でご協力くださる場合はご連絡いただければ郵送等でお届けいたします。7ページにも請願項目の説明の続きを掲載していますのでご覧下さい。

#### 廃品回収のお知らせ

1月の廃品回収は緊急事態宣言が発令されていたので中止とさせていただきます。皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

**次回は3月20日（土）が回収日です。**

雨天の場合は中止とさせていただきます。